

令和8年7月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	8,156	12,107	6,148	5,959	43	41
2 千 石	4,861	7,581	3,825	3,756	22	19
3 内 山	5,915	8,023	4,222	3,801	22	23
4 大 和	3,770	7,022	3,524	3,498	△ 1	0
5 上 野	7,919	15,709	7,674	8,035	△ 7	△ 24
6 高 見	8,456	14,351	6,779	7,572	14	18
7 春 岡	8,575	12,580	6,634	5,946	△ 2	△ 8
8 田 代	12,336	22,716	10,814	11,902	40	44
9 東 山	11,042	19,474	9,393	10,081	△ 13	△ 22
10 見 付	4,821	8,813	4,412	4,401	△ 1	0
11 星 ケ 丘	3,825	7,055	3,163	3,892	3	△ 8
12 自 由 ケ 丘	3,618	6,972	3,182	3,790	1	△ 10
13 富 士 見 台	6,784	15,006	6,906	8,100	△ 1	△ 2
14 宮 根	3,999	8,095	3,719	4,376	△ 24	△ 43
15 千 代 田 橋	3,841	8,147	3,798	4,349	3	△ 10
千 種 区 計	97,918	173,651	84,193	89,458	99	18
R7. 7. 1	90,901	165,458	80,219	85,239	14	△ 12
対 前 年 比	7,017	8,193	3,974	4,219	85	30
名 古 屋 市	1,197,801	2,353,152	1,155,274	1,197,878	1,342	1,002
愛 知 県 (R8. 6. 1)	3,444,899	7,446,089	3,709,205	3,736,884	2,232	△ 865

前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	90	137	△ 47	1,018	953	65

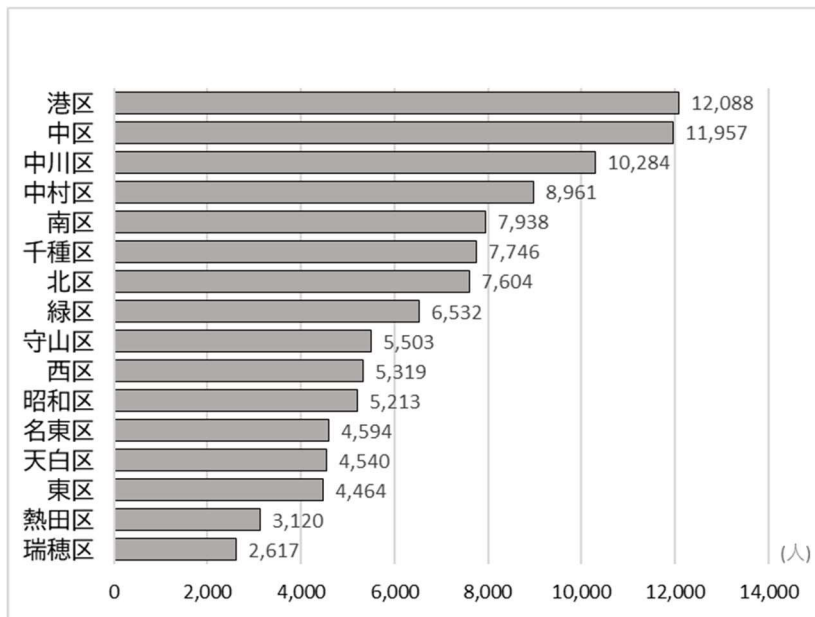
【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,651 (令和8年7月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注1) 本市の世帯数と人口は、令和7年国勢調査結果の本市独自集計速報値を基礎とし、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものです。

注2) 世帯数は、令和7年11月1日から算出方法の一部を変更しています。

千種区の外国人人口の概況



今回は、名古屋市及び千種区の外国人人口の概況を見ていきます。

まず、名古屋市内の区別外国人人口について見てみます（図1）。

名古屋市内の各区の令和7年10月1日現在の外国人人口の数を比較してみると、港区が12,088人と最も多く、続いて中区が11,957人となっています。千種区は7,746人で、16区の中で6番目の多さとなっています。

図1：区別外国人人口（令和7年10月1日現在）

※毎月1日現在の国籍・地域別外国人公簿人口(以下同じ)

次に、千種区の国籍別外国人人口について見てみます(図2)。令和7年10月1日現在の千種区の国籍別外国人人口を見て

みると、中国籍の人口が2,411人と最も多くなっています。

次に、令和7年10月1日現在の千種区における、平成27年からの10年間の外国人人口の推移について見てみます(図3)。

千種区では平成27年からの10年間で外国人人口が2,726人増加しており、平成27年から令和元年までは外国人人口が増加傾向にあります。その後2年間は新型コロナウイルス感染症の影響か、外国人人口が減少傾向となっていますが、令和3年から再び増加傾向となっています。

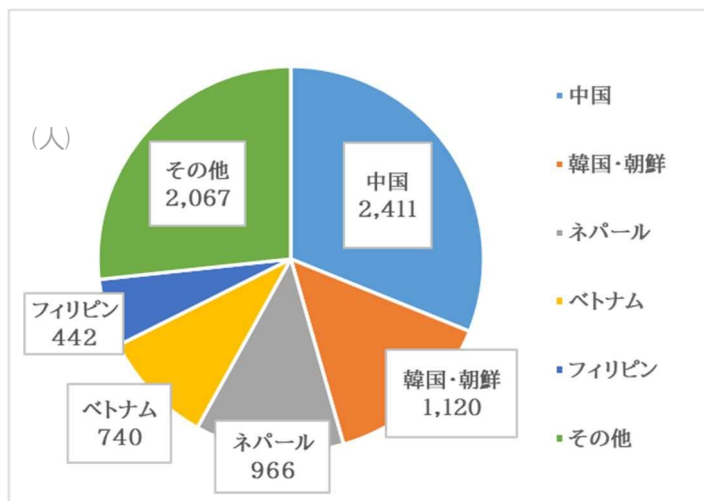


図2：千種区の国籍別外国人人口

（令和7年10月1日現在）

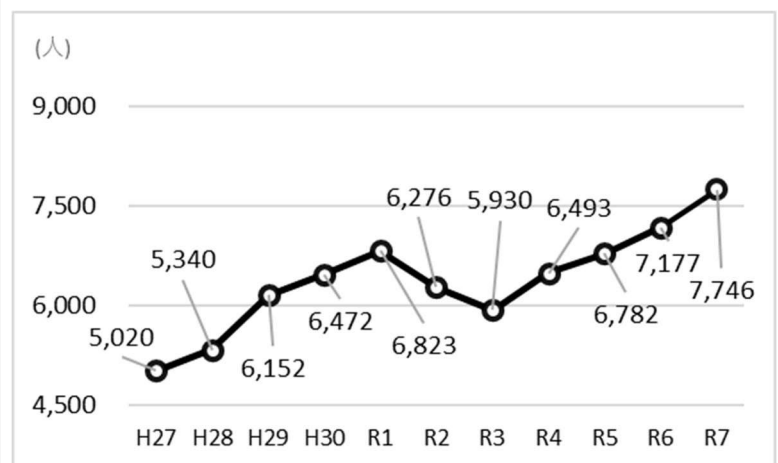


図3：千種区の毎年10月外国人人口の推移

（令和7年10月1日現在）